ヨーロッパの日本語学習者の読解における辞書使用の問題点とその指導

野田　尚史（国立国語研究所）、村田　裕美子（ミュンヘン大学）
中島　晶子（パリ大学）、白石　実（バルセロナ自治大学）

要旨

ヨーロッパの日本語学習者を対象に読解において辞書をどのように使っているかを調査し，学習者の辞書使用の問題点を明らかにした。また，辞書使用について学習者にどのような指導をすればよいかという提案も行った。問題点の指摘も指導の提案も，辞書使用の段階を「入力語句の決定段階」と「辞書への入力段階」と「語義の選択段階」の 3 つに分けて行った。具体的には，(a)のような問題点を指摘し，(b)のような指導の提案を行った。

(a) 学習者は「2 分半蒸らし」を「2 分」と「半蒸らし」に区切り，辞書で「半蒸らす」を調べるが，辞書では「半蒸らす」は見つからないという問題点がある。

(b) 「半」は，「年」「キロ」などの数量単位の後や「世紀」「ダース」などの数量単位の前に付いて「半分」という意味を表すと覚えておくように指導する。また，「半」を他の部分と合わせて辞書で調べないように指導する。

【キーワード】　読解，辞書，指導，入力，語義
Keywords:　reading comprehension, dictionary, teaching, input, meaning of a word

1　この論文の目的と構成

1 では，この論文の目的と構成を示す。1.1 でこの論文の目的について，1.2 でこの論文の構成について述べる。

1.1　この論文の目的

この論文の目的は 2 つある。1 つは，ヨーロッパの日本語学習者が読解を行うときに辞書の使用についてどのような問題点があるのかを明らかにすることである。もう 1 つは，辞書使用について学習者にどのような指導をすればよいかという提案を行うことである。

このような研究を行うことにした動機は，次のようなことである。日本語学習者が日本語の教科書ではなく，自分が読みたいと思う日本語の読み物を読むと，知らない語句がたくさん出てくる。そうした場合，学習者はスマホの辞書アプリやインターネットなどで調べることがある。しかし，辞書などで調べても，その語句の適切な意味にたどり着けないことがある。

しかし，学習者が実際に辞書をどのように使い，わからない語句の意味をどのように理解しているかを調査した研究は，桑原（2019）やフメリャク寒川（2020）以外にほとんどない。また，そうした調査をもとに，辞書使用について学習者にどのような指導をすればよいかを扱った研究もほとんどない。

そこで，ヨーロッパの日本語学習者を対象に，(1)と(2)を明らかにする調査を行うことにした。

(1) 学習者はどのように辞書を使用しているのか？

(2) 辞書で調べても適切な意味にたどり着けないのはどんなときで，それはなぜか？

そして，この調査結果をもとに，(3)の提案を行うことにした。

(3) 辞書使用について学習者にどのような指導をすればよいか？

1.2 この論文の構成

この論文の構成は，次のとおりである。

1 この論文の目的と構成 （執筆主担当：野田尚史）

2 日本語学習者の辞書使用の調査方法と分析方法 （執筆主担当：野田尚史）

3 入力語句の決定段階における辞書使用の問題点とその指導 （執筆主担当：村田裕美子）

4 辞書への入力段階における辞書使用の問題点とその指導 （執筆主担当：中島晶子）

5 語義の選択段階における辞書使用の問題点とその指導 （執筆主担当：白石実）

6 まとめと今後の課題 （執筆主担当：野田尚史）

2 では，調査方法と調査結果の分析方法について説明する。3 から 5 では，調査結果をもとに，日本語学習者の辞書使用の問題点を整理し，学習者への指導について提案を行う。その際，辞書使用の段階を 3 つに分けて，それぞれの段階での問題点と指導について述べる。3 では，テキストを読んで辞書に入力する語句を決定する段階を扱う。4 では，辞書を選択し，辞書に入力する段階を扱う。5 では，辞書で調べて出てきた語義の中から文脈に合う語義を選択する段階を扱う。最後の 6 では，この論文のまとめを行い，今後の課題についても触れる。

2 日本語学習者の辞書使用の調査方法と分析方法

2 では，ヨーロッパの日本語学習者の辞書使用の問題点を明らかにするために行った調査の方法と，調査結果の分析方法を説明する。2.1 で調査方法，2.2 で調査結果の分析方法，そして 2.3 では分析結果から学習者への指導を提案する方法を述べる。

2.1 調査方法

調査は，日本語学習者が日本語を読むときに，実際にどのように辞書を使い，日本語の意味をどのように理解しているかがわかるような方法で行った。

その方法は，日本語の読み物を読みながら理解した内容を学習者に自分の母語で語ってもらうものである。具体的には，(4)から(6)のようなことを行った。

(4) 学習者に自分が読みたい生（なま）の読み物を選んでもらう。

(5) 普段どおりに辞書などを使ってその読み物を読みながら，読みとった内容や推測したこと，わからないことを母語で語ってもらう。

(6) 内容理解を確認するための質問を母語で行い，母語で答えてもらう。

その際，学習者がどのように辞書を使ったかを記録すると同時に，辞書を使いながらどのようにその語句の意味を理解したかを学習者に語ってもらった。具体的には，(7)と(8)

のようなことである。

(7) 読むときに，どの辞書を使い，その辞書に何を入力したか，そのとき辞書にどのような情報が表示されたかを記録する。

(8) 辞書に表示された情報からその読み物の意味をどのように理解したかを，学習者に母語で語ってもらう。

これは，基本的には思考発話法（think-aloud method）による調査である。ただし，一般的な思考発話法では(6)のような質問は行わないので，思考発話法を改良したものだと言える。また，思考発話法を使った読解調査では普通は学習者に辞書を使わせないので，その点でも一般的な読解調査とは異なる。

この調査方法は，野田（2017），野田他（2017）で使われたものと基本的に同じである。詳しい調査方法は，ウェブサイト「日本語非母語話者の読解コーパス」に掲載されている。

今回，調査の対象にしたのは，ヨーロッパに在住する日本語学習者 49 名である。ドイツ在住者が 19 名，フランス在住者が 19 名，スペイン在住者が 9 名，スロベニア在住者が 2 名である。調査が行われたのは，2015 年 12 月から 2019 年 8 月である。

2.2 調査結果の分析方法

調査結果の分析としては，まず，得られたデータの中から学習者が辞書を使った部分に注目し，辞書を使ったけれど意味を適切に理解できなかった例を集めた。そして，それらの例について，辞書使用のどの段階でどんな問題点があるのかを，(9)から(11)の 3 つの段階に分け分析した。

(9) 入力語句の決定段階:学習者が辞書で調べる前に，テキストの文字列を切り分け，辞書に入力する語句を決定する段階

(10) 辞書への入力段階：学習者がどの辞書を使うかを選択し，調べたい語句を辞書に入力する段階

(11) 語義の選択段階：学習者が調べたい語句を辞書で調べた後，複数の語義の中から文脈に合う語義を選択する段階

たとえば，スペイン語を母語とする初級学習者が(12)を読んだときの辞書使用については，次のように分析した。

(12) キャベツ，天かす，(2)の麺の順にのせて，約 2 分半蒸らします。（ウェブサイト「OTAFUKU」，「本格おウチで簡単！焼き方レシピ」，http://www.otafuku.co.jp/recipe/cook/noodle/nood01.html，2017.5.12）

この学習者は，「2 分半蒸らします」の部分を「2 分」と「半蒸らします」に切り分け，辞書で「半蒸らす」を調べたが，見つからなかった。

この場合の問題点は，「2 分半蒸らします」という文字列をどのように切り分け，辞書で調べる言語単位をどのように選択するかという段階のものである。そのため，これは(9)の「入力語句の決定段階」の問題点だと位置づけた。

そして，この学習者は「2 分半蒸らします」の「2 分」の意味はわかるため，「2 分」と「半蒸らします」に切り分け，「半蒸らします」の辞書形として「半蒸らす」を辞書で調べたのだと分析した。

2.3 分析結果から学習者への指導を提案する方法

調査の分析結果から学習者への指導内容を提案する方法としては，辞書使用に問題が

あったそれぞれの例について，(13)のような原因を考えた上で，(14)のような提案をすることにした。

(13) 不適切な辞書使用の原因：学習者にどんな知識がなかったために辞書を使って意味を適切に理解できなかったのか？

(14) 指導内容の提案：学習者にどんな知識があれば，辞書を使って意味を適切に理解できるのか？

たとえば，前の(12)で「2 分半蒸らします」の部分を「2 分」と「半蒸らします」に切り分け，辞書で「半蒸らす」を調べた例については，(15)と(16)が原因だと考える。

(15)「2 分」と「半蒸らします」に切り分けた場合，「半蒸らします」は動詞だという判断はできた。しかし，「半蒸らします」が動詞であれば漢字 2 字の熟語の後は「します」になる可能性が高いため，「半蒸らします」が動詞である可能性は低いという判断ができなかった。

(16)「半」は数量を表す語句の前後に付くことが多く，他の漢字 1 字といっしょになって漢字 2 字の熟語を作ることはあまりないという判断ができなかった。

そして，これらの問題点に対しては(17)と(18)のような指導を提案する。

(17) 漢字 2 字の後に「し（ます）」や「す（る）」ではなく，「ら」「く」など他の文字が続いている場合は，「漢字 2 字とその後の部分」が動詞になっている可能性は低いと判断すればよい。漢字 2 字の後に助詞が続いている場合は漢字 2 字で名詞になっている可能性が高いが，そうでない場合は，1 字目の漢字と 2 字目の漢字の間で切り分けられないかを考えればよい。

(18)「半」は「年」「キロ」などの数量単位の後や「世紀」「ダース」などの数量単位の前に付いて「半分」という意味を表すことが多いことを覚えておけばよい。また，「半」は他の漢字 1 字といっしょになって漢字 2 字の熟語を作ることは少ないということも覚えておけば，なおよい。

3　入力語句の決定段階における辞書使用の問題点とその指導

学習者が辞書で調べる前にテキストの文字列をどのように切り分け，辞書で調べる入力語句をどのように決定するかを分析した結果，学習者は入力語句の決定段階で，主に(19)から(24)の問題点があることが明らかになった。

(19) 漢字が続いている部分で入力語句を適切に決定できない

(20) ひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない

(21) 漢字とひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない

(22) 数値に関わる部分で入力語句を適切に決定できない

(23) 複合動詞の部分で入力語句を適切に決定できない

(24) 活用形の部分で入力語句を適切に決定できない

これらの問題点について，3.1 では(19)を，3.2 では(20)を，3.3 では(21)を，3.4 では(22)を，3.5 では(23)を，3.6 では(24)を，具体例をあげて説明し，入力語句の決定段階における指導について提案を行う。

3.1　漢字が続いている部分で入力語句を適切に決定できない

漢字が続いている部分で，学習者はどこで区切ればよいかがわからず，不適切に区切

ることがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなることがある。

たとえば，(25)を読んだドイツ語を母語とする中級学習者は，「配送部車両課」の「配送部」を「配送」と「部」に切り分け，「車両課」を「車」と「両課」に切り分けた。そして，辞書で「両課」を調べたが，見つけられず，意味を適切に理解することができなかった。

(25) 二十二歳のときに，大型免許を取得して，**配送部車両課**へと異動。（宮部みゆき『理由』p.321，新潮社，2007）

「配送部」を「配送」と「部」に切り分けたのは，学習者が「配送」ということばを知っていたからである。また，「車両課」を「車」と「両課」に切り分けたのは，「車」の意味がわかっていたからである。しかし，そのことばを知っているというだけで区切ると，辞書で見つからないことがある。

また，(26)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，「雇用主」を「雇用」と「主」に切り分けた。そして，辞書で「雇用」と「主」を調べたが，「主な雇用」という意味だと不適切に理解した。

(26) アルバイト先の**雇用主**が作成する採用予定証明書など（ウェブサイト「日本留学総合情報ガイド」，「アルバイトの見つけ方」，http://www.studyjapan.go.jp/jp/inj/inj03j.html，2015.12.28）

この学習者は「主な雇用が作成する」というのはおかしいと悩むが，適切な理解にたどり着くことができなかった。「主」がその前にある「雇用」を修飾することはないという判断ができず，「主」に他の意味があるかもしれないという推測ができなかったからである。辞書には「雇用主」が載っていることが多いので，「雇用主」でも調べれば，適切な意味にたどり着けた可能性がある。

このような問題点に対しては，(27)と(28)のような指導を提案する。

(27) 漢字が 3 つ連続している場合は，漢字 2 つの部分と漢字 1 つの部分に区切ればよいことが多いが，「部」や「課」のように漢字 1 つの部分になりやすい漢字を覚えておくようにする。

(28) 入力語句が辞書に載っていなかったり，辞書で調べた語句では意味が不自然だと感じたら，語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

3.2　ひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない

ひらがなが続いている部分で，学習者はどこで区切ればよいかがわからず，不適切に区切ることがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなることがある。

たとえば，(29)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「ともいえる」を「と」と「もいえる」に切り分けた。そして，辞書で「もいえる」を調べたが，見つけられず，意味を適切に理解することができなかった。

(29) 鮮やかに色づけされた生八ツ橋で花をかたどったり，キャラメルなどの新素材と合わせた，進化系八ツ橋**ともいえる**スイーツを新ブランドで次々と発表。（『にぽにか』日本語版，第 12 号，p.19，「伝統から新しい世界へ」，外務省，2014，原文はすべて漢字にルビがある）

「ともいえる」を「と」と「もいえる」に切り分けたのは，学習者が「という」などの「と」を知っていて，「と」は 1 単語であると考えたからである。

また，(30)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「はおれば」を「は」と「おれば」に切り分けた。そして，辞書で「おる」を調べたが，意味がたくさん出てきて，意味

を適切に理解することができなかった。

(30) そこに G ジャンを**はおれば**，どこから見ても貧乏な旅行者だった。（吉本ばなな「小さな闇」，『日本語の短編小説』，p.9，Penguin Books，2011，原文はすべて漢字にルビがある）

「はおれば」を「は」と「おれば」に切り分けたのは，「は」を強調の意味を表す助詞だと判断したからである。

このような問題点に対しては，(31)と(32)のような指導を提案する。

(31)「は」や「も」は助詞である可能性があるので，「は」や「も」を他の部分といっしょにしないで，区切るようにする。ただし，「をは」や「はも」のように連続することはない助詞の組み合わせになっているときは，「は」や「も」は他の部分の一部である可能性が高いと判断するようにする。

(32) 辞書で調べた語句では意味が理解できないと感じたら，語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

3.3　漢字とひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない

漢字とひらがなが続いている部分で，学習者はどこで区切ればよいかがわからず，不適切に区切ることがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなることがある。

たとえば，(33)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「ため息」を「ため」と「息」に切り分けた。そして，辞書で「息」を調べ，「自分では決められないから，息をふいた」という意味だと不適切に理解した。

(33) 父の目は輝き，次々に手にとって演奏しては，決められない**ため息**をもらしていた。（吉本ばなな「小さな闇」，『日本語の短編小説』，p.9，Penguin Books，2011，原文はすべて漢字にルビがある）

「ため息」を「ため」と「息」に切り分けたのは，学習者が理由を表すときに使う「～ため」を知っていたからである。しかし，「息をふく」のところが正しく理解できているのか，文脈に合っているのか，その内容にはあまり納得できず，悩んでいた。

また，(34)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「お年寄り」を「お」と「年寄り」に切り分けなかった。そして，辞書で「お年寄り」を調べたが，見つけられず，意味を適切に理解することができなかった。

(34) 子どもと**お年寄り**は特に気をつける（ウェブサイト「NEWS WEB EASY」，「熱中症にならないために気をつけること」，https://www3.nhk.or.jp/news/easy/article/disaster_heat.html，2018.7.23，原文はすべて漢字にルビがある）

このような問題点に対しては，(35)と(36)のような指導を提案する。

(35)「～ため」や「～とき」のような従属節の後には「，」が来ることが多いので，「ため」や「とき」の後に「，」がないときは，「ため」「とき」とその後の部分が 1 つの語になっている可能性があると判断するようにする。

(36) 辞書で調べた語句では意味がよくわからないと感じたら，語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

3.4　数値に関わる部分で入力語句を適切に決定できない

数値に関わる部分で，学習者はどこで区切ればよいかがわからず，不適切に区切るこ

とがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなることがある。

たとえば，(37)を読んだスペイン語を母語とする初級学習者は，「3 分の 1 近く」を「3 分の」と「1 近く」に切り分けた。そして，辞書で「1 近く」を調べたが，見つけられず，意味を適切に理解することができなかった。

(37) 日本で暮らす外国人の 3 **分の** 1 **近く**が，差別を経験したことがあることが分かった。（ウェブサイト「NewSphere」，松丸さとみ「「外国人 3 割が差別発言経験」の法務省調査，手法に難あり？海外掲示板で話題に」，https://newsphere.jp/national/20170404-3/，2017.5.12）

また，(38)を読んだフランス語を母語とする中級学習者は，「3 日夜」を「3」と「日夜」に切り分けた。そして，辞書で「日夜」を調べ，「会議が三日三晩続いた」という意味だと不適切に理解した。

(38) 安倍晋三首相とトヨタ自動車の豊田章男社長が 3 **日夜**，国会近くのホテルで会談した。（『毎日新聞』2017.2.3，「安倍首相　トヨタ社長と会談　日米首脳会談に向け協議」，https://mainichi.jp/articles/20170204/k00/00m/020/059000c，2017.2.8）

学習者は，会談が三日三晩続くというのはおかしいと思い，悩んだが，3 日が日付であることはわからず，「3 日」と「夜」という切り分け方は考えなかったのだと考えられる。

このような問題点に対しては，(39)のような指導を提案する。

(39) 数値の後には普通の名詞が来ることはほとんどなく，単位を表す語や助数詞が来ることが多いので，数値のすぐ後にある「日」のような漢字 1 字は単位を表す語や助数詞である可能性が高いと判断するようにする。

3.5　複合動詞の部分で入力語句を適切に決定できない

複合動詞の部分で，学習者はどこで区切ればよいかがわからず，不適切に区切ることがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなることがある。

たとえば，(40)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「打ち込む」を「打ち」と「込む」に切り分けた。そして，辞書で「込む」を調べた。辞書には「いっぱいである」という意味が載っていたため，お寺の話であることから，「たくさんの人が訪れる場所」という意味だと不適切に理解した。

(40) 禅の寺院では，今もなお若い僧たちが修行に**打ち込む**姿が見られる。（『にぽにか』日本語版，第 3 号，p.10，「修行のかたち」，外務省，2011，原文はすべて漢字にルビがある）

また，(41)を読んだドイツ語を母語とする中級学習者は，「こぎ着ける」を「こぎ」と「着ける」に切り分けた。そして，辞書で「こぎ」を調べた。辞書には「漕ぎ」などを含め複数の意味が載っていたため，どの意味かがわからず悩んだ。最終的に，いちばん文脈に合いそうなものとして「狐疑」（indecision）を選び，「トランプ氏に初めて会ったとき，合意できなかった」という意味だと不適切に理解した。

(41) 首相は，当選直後のトランプ氏と会談に**こぎ着ける**など，直接対話を早めに繰り返して首脳同士の信頼関係を築きたい考えだ。（『朝日新聞』2017.1.30，p.3，「10 日の会談は『真剣勝負』」）

このような問題点に対しては，(42)のような指導を提案する。

(42)「打ち込む」のように「動詞の連用形＋動詞」である可能性があるものは，それ全体が複合動詞だろうと判断し，区切らずに「動詞の連用形＋動詞」全体を辞書

で調べるようにする。

3.6　活用形の部分で入力語句を適切に決定できない

動詞の活用形の部分で，学習者はその活用がわからず，適切に区切ることができないことがある。その結果，辞書に入力する語句を適切に決定できなくなる場合がある。

たとえば，(43)を読んだフランス語を母語とする初級学習者は，「思う」という動詞は知っていたが，「思えない」がどのような意味をもつ動詞形なのか知らなかった。そこで，オンライン辞書サイト内の動詞活用表を見たが，そこには可能形は出ていなかった。そのため，翻訳アプリで「思えない」を調べた。辞書には「思わない」という意味のフランス語訳が出たため，これを「知らない」という意味に置き換え，「レベルの高さを（私たちが）知らない初アルバム」という意味だと不適切に理解した。

(43) 『Zanaka（マダガスカル語で「子供」）』は初アルバムとは**思えない**レベルの高さ。（『Ovni』No.826，Editions Ilyfunet，2017「Jain。第 2 のストロマエ。」，http://ovniavi.com/jain，2017.4.19）

また，(44)を読んだドイツ語を母語とする中級学習者は，「見当がつかぬ」の「つかぬ」が動詞であることは理解できたが，否定の助動詞「ぬ」を知らなかったため，「つく」という動詞であることがわからなかった。そして，辞書で「つかぬ」を調べた。辞書には「つかぬ事」という意味のドイツ語訳が出たため，これを「重要でない」という意味に置き換え，「どこで生まれたかは，まったく重要でない」という意味だと不適切に理解した。

(44) どこで生れたかとんと**見当がつかぬ**。（夏目漱石『吾輩は猫である』，青空文庫，https://www.aozora.gr.jp/cards/000148/files/789_14547.html，2016.12.12，原文では「見当」に「けんとう」というルビがある）

このような問題点に対しては，(45)と(46)のような指導を提案する。

(45)「思える」のような可能動詞は辞書に載っていないので，漢字の後にエ段のひらがながある動詞は，そのひらがなをウ段に変えた「思う」のような動詞の可能形である可能性があると判断するようにする。

(46) 動詞であることは推測できても，その活用形がわからないときは，古い活用形である可能性があるが，そのような活用形は慣用句でしか使われないものが多いので，「見当がつかぬ」であれば，「見当」や「見当がつ」など，さまざまな語句でも辞書で調べるようにする。

3.7　入力語句の決定段階における辞書使用の問題点とその指導のまとめ

ここまで見てきた入力語句の決定段階における問題点とそれに対する指導をまとめると，(47)から(52)のようになる。

(47) 漢字が続いている部分で入力語句を適切に決定できない問題点に対して：漢字が 3 つ連続している場合に他の漢字 2 つに対して 1 つの漢字に区切られる「部」や「課」のような漢字を覚えておくとともに，入力語句が辞書に載っていないときは語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

(48) ひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない問題点に対して：「は」や「も」は助詞である可能性があるので他の部分といっしょにしないで区切るようにするとともに，辞書で調べた語句では意味が理解できないときは語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

(49) 漢字とひらがなが続いている部分で入力語句を適切に決定できない問題点に対し

て：「ため」や「とき」の後に「，」がないときは「ため」「とき」とその後の部分が 1 つの語になっている可能性があると判断するとともに，辞書で調べた語句では意味がよくわからないときは語句の区切り方を変えて辞書で調べるようにする。

(50) 数値や単位に関わる部分で入力語句を適切に決定できない問題点に対して：数値のすぐ後にある「日」のような漢字 1 字は単位を表す語や助数詞である可能性が高いと判断するようにする。

(51) 複合動詞を適切に決定できない問題点に対して：「打ち込む」のような「動詞の連用形＋動詞」は区切らずにそれ全体を辞書で調べるようにする。

(52) 活用形の部分で入力語句を適切に決定できない問題点に対して：「思える」のように漢字の後にエ段のひらがながある動詞は可能形である可能性があると判断するとともに，「見当がつかぬ」のように活用形がわからない動詞は「見当」や「見当がつ」などでも辞書で調べるようにする。

4　辞書への入力段階における辞書使用の問題点とその指導

学習者が辞書で調べる入力語句を決定した後，それを辞書にどのように入力するかを分析した結果，日本語学習者は辞書への入力段階で，主に(53)から(58)の問題点があることが明らかになった。

(53) 文字の形を混同して適切に入力できない
(54) 読み方を混同して適切に入力できない
(55) 辞書が認識できるように文字を入力できない
(56) 当て字や異体字で書かれた語句を調べられない
(57) 辞書にない語句を他のリソースで調べられない
(58) 辞書記述が不十分でも他のリソースを活用できない

これらの問題点について，4.1 では(53)を，4.2 では(54)を，4.3 では(55)を，4.4 では(56)を，4.5 では(57)を，4.6 では(58)を，具体例をあげて説明し，辞書への入力段階における指導について提案を行う。

4.1　文字の形を混同して適切に入力できない

他の文字と形が似ている文字の部分で，学習者は字形を混同して，適切に入力できないことがある。その結果，調べている語句が見つからない場合がある。

たとえば，(59)を読んだフランス語を母語とする初級学習者は，「輸入」の「輸」を「輪」と混同して，辞書アプリにローマ字入力で「わ」と入力した。そして，「わ」と読む漢字のリストから「輪」を選択した。しかし，「輪」を含む語句のリストには「輪入」はなく，「輸入」を見つけることができなかった。「輸」と「輪」のように形が似ている上に，画数が多い漢字では，特に細部の違いには気づきにくい。

(59) コンダミナスさんは日本食材の**輸入**会社で働くかたわら［後略］（『ノアゼットプレス』No.37，p.1，「今フランスで一番熱い日本食材は「ユズ」だった!」，ノアゼット東京オフィス，2017）

また，(60)を読んだフランス語を母語とする初級学習者は，「可哀想」の「哀」を手書き入力した後，辞書画面に出てきた漢字候補のリストから，最初の文字の「衰」を選び，そ

の隣にあった「哀」を選ばなかった。そして，その前後に「可」と「想」を加え，「可衰想」と入力したため，「可哀想」を見つけることができなかった。

(60) おぉおぉ，**可哀想**に。（ウェブサイト「左大臣どっとこむ」，「舌切り雀」，http://yomukiku-mukashi.com/shitakiri.html，2016.12.25）

このような問題点に対しては，(61)と(62)のような指導を提案する。

(61) 形の似ている文字が多いので，入力の間違いを防ぐために，読み方でタイプ入力するのではなく，手書き入力かコピー･アンド･ペーストで入力するようにする。

(62) 手書き入力で出てくる漢字の候補には似た形の漢字があるので，細部に注意し，字形の違いを見分けた上で漢字を選択するようにする。

4.2　読み方を混同して適切に入力できない

他の文字と読み方が似ていたり，複数の読み方をもつ文字の部分で，学習者は読み方を混同して，適切に入力できないことがある。その結果，調べている語句が見つからない場合がある。

たとえば，(63)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，「抱いてきた」の「抱」に「いだ」とルビが付いているのに，「いただく」と混同して「いただ」と読み間違えた。そして，その読み方で辞書を引いたため，「抱（いだ）く」を見つけることができなかった。

(63) 古来，日本人が富士山に**抱いて**きた心情を探る。(『にぽにか』日本語版，第 13 号，p.9，「富士山はなぜ祈りの山になったのか」，外務省，2014，原文はすべて漢字にルビがある)

ルビがあっても読み間違えるのは，知っている語と部分的に共通するところを見ただけで，読み方が似ている語と誤って認識してしまうからである。

また，(64)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，「目的」の「目」を，音読みの「もく」ではなく訓読みの「め」と読み，「的」を，同じつくりをもつ漢字の「約」のように「やく」と読んだ。そして，「めやく」という読み方で入力したため，「目的」という語を見つけることができなかった。ここでは，音訓の読み方の混同に加え，形の似た漢字の混同が見られる。

(64) 法務省は調査の**目的**を，2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控えるなか［後略］（ウェブサイト「NewSphere」，松丸さとみ「「外国人 3 割が差別発言経験」の法務省調査，手法に難あり？海外掲示板で話題に」https://newsphere.jp/national/20170404-3/，2017.5.12）

このような問題点に対しては，(65)のような指導を提案する。

(64) 複数の読み方がある漢字が多く，読み方の似た漢字もあるので，読み方でタイプ入力するのではなく，手書き入力かコピー・アンド・ペーストで入力するようにする。

4.3　辞書が認識できるように文字を入力できない

他の文字と書き方が似ている部分で，学習者は書き方を混同して，辞書に適切に入力できないことがある。その結果，調べている語句が見つからない場合がある。

たとえば，(66)を読んだフランス語を母語とする中級学習者は，「モントルイユ市」の「市」を調べるとき，「亠」と書いてから「巾」と書くのではなく，「一」「冂」「丨」の順で手書き入力をした。そして，全体的な形は似ているものの，おそらく画数が異なることから辞

書アプリが「市」と認識しなかったため，漢字候補のリストから「市」を見つけることができなかった。

(66) 2014 年に郊外のモントルイユ**市**でできた「ペッシュ」が，パリ東部数区でも使われることになった。(『Ovni』No.853，2018,「パリも地域通貨〈ペッシュ〉導入！」，https://ovninavi.com/パリも地域通貨〈ペッシュ〉導入！，2018.6.21)

また，(67)を読んだフランス語を母語とする中級学習者は，「愉悦」を調べるとき，「愉」の部首を「忄」ではなく「木」と手書きで書いた。そして，漢字候補のリストの中には「木」と異なる部首をもつ漢字も出てきたが，「愉」を見つけることができなかった。

(67) 手作業の**愉悦**の中から生まれてくる独自のかたちに，特にモチーフはないのだと話しますが［後略］(チラシ「INAX ガレリアセラミカでの田中知美展」，2008)

このような問題点に対しては，(68)と(69)のような指導を提案する。

(68) 手書き入力で辞書が文字を認識しない場合は，画数を確認したり，コピー・アンド・ペーストで入力したり，画数にかかわらず形の似た漢字候補が多く出るアプリを選んだりするようにする。

(69) 語句の中から，文字がわかる部分を抜き出して，検索エンジンでワイルドカード検索をするようにする。

ワイルドカード検索では，調べる語句の中でわからない文字の部分にアステリスクを入れ，語句を二重引用符で囲み，「"モントルイユ*で"」のように入力すると，これらの語句を含む例文を探すことができる。そこで「モントルイユ市で」という語列が見つかれば，それをコピー・アンド・ペーストして調べることが可能となる。

4.4　当て字や異体字で書かれた語句を調べられない

当て字や異体字で書かれた語句の部分で，学習者が文字を正確に入力しても，その文字が辞書の見出しに使われていないことがある。その結果，調べている語句が見つからない場合がある。

たとえば，(70)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，読み物に書いてあるとおり，辞書アプリに「Ｙシャツ」と入力した。しかし，この辞書には「ワイシャツ」という見出し語しかなかったことから，当て字の「Ｙシャツ」を入力してもこの語句を見つけることができなかった。

(70) サラリーマンたちも上着を脱いで白やブルーの**Ｙシャツ**姿で行き交い［後略］(青山七恵『ひとり日和』p.49，河出書房新社，2007)

また，(71)を読んだフランス語を母語とする初級学習者は，「二疋」の「疋」を調べるために，この漢字にふってあるルビのとおり「ひき」と入力した。しかし，「ひき」と読む語句の候補が「引き，匹，弾き，惹き，曳き，退き，轢き，比企」など多く出てくる中で「疋」の漢字は見つからなかった。

(71) ［前略］白熊のような犬を**二疋**つれて［後略］(宮沢賢治『注文の多い料理店』，青空文庫，http://www.aozora.gr.jp/cards/000081/files/43754_17659.html，2016.12.5，原文では「白熊」と「疋」にルビがある)

このような問題点に対しては，(72)と(73)のような指導を提案する。

(72) 書いてあるとおりに入力しても辞書で見つからない場合は，見出し語にない当て字や異体字が使われている可能性があるので，アルファベットはカタカナにするなど，他の表記で入力するようにする。

(73) 検索エンジンや翻訳アプリなどを使って，文字や語句，節の単位で入力するようにする。

4.5　辞書にない語句を他のリソースで調べられない

固有名詞や位相語などの語句の部分で，学習者が正確に入力しても，辞書に載っていないことがある。その結果，他のリソースに当たらなければ，調べる語句が見つからない場合がある。

たとえば，(74)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，固有名詞である「メイベリーン」をオンライン辞書で調べたが，見つからなかった。その結果，人の名前だと考えて他のリソースで調べることをしなかったため，曲名であることがわからなかった。固有名詞はたいていの辞書には載っていないため，他のリソースを使わないと意味を調べることができない。

(74) 黒人差別の激しかった 55 年に「**メイベリーン**」で全米デビューし，人気歌手に。（ウェブサイト「朝日新聞 DIGITAL」，2017.3.19,「チャック・ベリーさん死去　ロック界の伝説，90 歳」，https://www.asahi.com/articles/ASK3M2PLPK3MUHBI001.html，2017.3.21）

また，(75)を読んだフランス語を母語とする中級学習者は，「ママチャリ」を辞書アプリで調べたが，見つからなかった。その結果，文の意味を理解することができなかった。くだけた会話や文章にしか使われない「ママチャリ」のような位相語は，辞書に載っていないことがあるため，他のリソースを使わないと意味を調べることができない。

(75) イギリスで**ママチャリ**が注目される理由とは（ウェブサイト「NewSphere」，「日本の自転車文化を学べ！　イギリスでママチャリが注目される理由とは」，https://newsphere.jp/national/20131201-1/，2017.5.31）

このような問題点に対しては，(76)のような指導を提案する。

(76) 調べる語句が辞書に載っていない場合は，固有名詞や位相語である可能性があるので，検索エンジンで調べるようにする。

4.6　辞書の記述が不十分でも他のリソースを活用できない

調べる語句が辞書で見つかっても，辞書の記述が不十分であったり，わかりにくかったりすることがある。その結果，他のリソースに当たらなければ，調べる語句の意味が適切に理解できない場合がある。

たとえば，(77)を読んだフランス語を母語とする中級学習者は，辞書アプリで「官民」を調べ，「government and people」という訳を見つけるが，文の中で具体的にどのような意味で使われているのかが理解できなかった。この文では政府の方針が述べられているはずなのに，なぜ「people」が出てくるのかわからないと悩んだ。しかし，それ以上調べなかったため，文の意味を適切に理解することができなかった。

(77) **官民**が協調して米国への投資をアピールし，貿易摩擦を回避したい考えだ。（『毎日新聞』2017.2.3,「安倍首相　トヨタ社長と会談　日米首脳会談に向け協議」，https://mainichi.jp/articles/20170204/k00/00m/020/059000c，2017.2.8）

辞書アプリなどでは，語句の訳や定義がごく簡略であったり，例文も少なかったりするため，意味を適切に理解するには十分でないことがある。

また，(78)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，「店開き」の「店開」を電子

辞書に入力したが，辞書では自動的に「開店」と変換され，「店が開く」という意味が出た。入力した語と違うため，この意味が「開店」の意味として正しいものなのかわからずに悩んだ。しかし，それ以上調べなかったため，文の意味を適切に理解することができなかった。

(78) 売店はホームの真ん中にあって，高層ビルが立ち並ぶ新宿方向には背を向けて**店開き**していた。（青山七恵『ひとり日和』河出書房, 2010, p.49）

辞書が他の候補として別の語を出してきた場合は，それが合っているかどうかは同じ辞書では確認できない。「店開き」などの日常的に使われるような語であっても，辞書には載っていなかったり，類似する語句のみが出てきたりして，学習者は戸惑うことがある。

このような問題点に対しては，(79)と(80)のような指導を提案する。

(79) 辞書の記述が不十分なときは，検索エンジンを使って，語句が使われる文脈や関連する情報を調べ，意味を推測するようにする。

(80) 入力した語句を辞書が自動変換して異なる語句の意味を示してきた場合は，検索エンジンでフレーズ検索をするようにする。

フレーズ検索では，二重引用符を使い「”店開”」または「”店開き”」と入力すれば，これと一致する語列を含む例が見つかるため，例文を探せるほか，読み物にある表記が間違いではないことを確認することもできる。

4.7　辞書への入力段階における辞書使用の問題点とその指導のまとめ

ここまで見てきた辞書への入力段階における問題点とそれに対する指導をまとめると，(81)から(86)のようになる。

(81) 文字の形を混同して適切に入力できない問題点に対して：手書き入力かコピー・アンド・ペーストで入力するようにするとともに，手書き入力で出てくる漢字の候補は細部に注意し，字形の違いを見分けた上で漢字を選択するようにする。

(82) 読み方を混同して適切に入力できない問題点に対して：読み方でタイプ入力するのではなく，手書き入力かコピー・アンド・ペーストで入力するようにする。

(83) 辞書が認識できるように文字を入力できない問題点に対して:画数を確認したり，コピー・アンド・ペーストで入力したり，字形の似た漢字候補が多く出るアプリを使ったりするとともに，検索エンジンでワイルドカード検索をするようにする。

(84) 当て字や異体字で書かれた語句を調べられない問題点に対して：辞書で見つからない場合は他の表記で入力するとともに，検索エンジンや翻訳アプリなどを使って文字や語句，節の単位で入力するようにする。

(85) 辞書にない語句を他のリソースで調べられない問題点に対して：調べる語句が辞書に載っていない場合は検索エンジンで調べるようにする。

(86) 辞書記述が不十分でも他のリソースを活用できない問題点に対して：辞書の記述が不十分なときは，検索エンジンを使って文脈や関連する情報を調べ，意味を推測するようにする。

5　語義の選択段階における辞書使用の問題点とその指導

学習者が調べる語句を辞書に入力した後，複数の語義の中から文脈に合う語義をどのように選択するかを分析した結果，学習者は語義の選択段階で，主に(87)から(89)の問題

点があることが明らかになった。

(87) 最初に出ている語義を選択する

(88) 例文を見ないために適切な語義を選択できない

(89) 文脈に合う語義を選択できない

これらの問題点について，5.1 では(87)を，5.2 では(88)を，5.3 では(89)を，具体例をあげて説明し，語義の選択段階における指導について提案を行う。

5.1　最初に出ている語義を選択する

辞書の見出し語に複数の語義が載っている場合，学習者は最初に出ている語義だけを見て，それを選択することがある。その結果，その語義が文脈に合わず，文全体の意味を適切に理解できない場合がある。

たとえば，(90)を読んだドイツ語を母語とする初級学習者は，「評する」の語義として辞書に載っている「批判する」と「コメントする」のうち，最初に出ている「批判する」という語義を見て，それを選択した。その結果，文の意味を適切に理解することができなかった。

(90) 米ウォールストリート・ジャーナル紙は「黒人と白人の 10 代の若者を同じように魅了した，最初の黒人アーティストの一人」と**評した**。（ウェブサイト「朝日新聞 DIGITAL」，2017.3.19，「チャック・ベリーさん死去　ロック界の伝説，90 歳」，http://www.asahi.com/articles/ASK3M2PLPK3MUHBI001.html，2017.3.21）

学習者は，なぜ黒人アーティストの一人が批判されなければならなかったのかを理解できなかったが，辞書にある「コメントする」という別の語義を見て検討することはなかった。

また，(91)を読んだスペイン語を母語とする初級学習者は，「コシ」の語義として辞書に載っている「ウエスト部分」と「髪，麺，紙などの耐久性と弾力性」のうち，最初に出ている「ウエスト部分」という語義を見て，それを選択した。その結果，文の意味を適切に理解することができなかった。

「コシ」と辞書に入力した。最初の語義として「ウエスト部分」が出たが，文脈に合わないし，擬音語の語義でもなさそうなので，辞書には出ていない特別な語句だと判断し，2 つ目以降の語義も見ずに，それ以上調べなかった。

(91) ゆでても**コシ**が強く形が崩れにくいなどの性質を持つ。(ウェブサイト「オリーブオイルをひとまわし」，「パスタとラーメンは，原材料がこんなに違う！」，https://www.olive-hitomawashi.com/column/2018/01/post-813.html，2018.5.6）

学習者は，「ウエスト部分」では文脈に合わないと思ったが，辞書には出ていない特別な語句だと判断しただけで，辞書にある「髪，麺，紙などの耐久性と弾力性」という別の語義を見て検討することはなかった。

なお，学習者はオンライン辞書に「コシ」と入力したが，それが自動的に「腰(こし) 」と変換されて画面に提示されていることに気がつかなかった。

このような問題点に対しては，(92)のような指導を提案する。

(92) 語義が複数あるときは，最初の語義だけを見るのではなく，他の語義も見て，もっとも文脈に合う意味を選択するようにする。

5.2　例文を見ないために適切な語義を選択できない

辞書の見出し語に複数の語義が載っている場合，例文を見れば適切な語義が選びやすいことがある。しかし，学習者は例文を見ずに語義だけを見て，語義を選択することがある。その結果，その語義が文脈に合わず，文全体の意味を適切に理解できない場合がある。

たとえば，(93)を読んだフランス語を母語とする初級学習者は，辞書に載っている例文を見なかったために，「次第」の語義である「〜による」と「すぐに」のうち，どちらが文脈に合うのかを選択できなかった。

(93)［前略］太さ**次第**だが 20 分ちょっと蒸す。(『Ovni』No.831，「ときどき魚屋に出る川のスズキの，びっくりするうまさ」，https://ovninavi.com/%E3%81%A8%E3%81%8D%E3%81%A9%E3%81%8D%E9%AD%9A%E5%B1%8B%E3%81%AB%E5%87%BA%E3%82%8B%E5%B7%9D%E3%81%AE%E3%82%B9%E3%82%BA%E3%82%AD%E3%80%81%E3%81%9D%E3%81%AE%E7%99%BD%E8%BA%AB%E3%81%AE%E3%81%86%E3%81%BE/，2017.6.3）

この辞書には語義記述と同じ画面には例文は載っていないが，例文検索のリンクがある。そこには，「結果次第」「天気次第」のような「〜による」という語義の例と，「機械が空き次第送る」のような「すぐに」という語義の例が載っている。このような例を見れば，「太さ次第」の「次第」は「〜による」という語義だと判断しやすくなったはずである。

また，(94)を読んだスペイン語を母語とする初級学習者は，辞書に載っている例文を見なかったために，「スペース」の語義である「部屋や領域の空間」と「タイプするときの文字と文字との空間」と「宇宙空間」のうち，どれが文脈に合うのかを選択できなかった。

(94)ホットプレートで焼く場合は，**空いているスペース**に麺をおき温めて調理します。(ウェブサイト「OTAFUKU」，「本格おウチで簡単！焼き方レシピ」，http://www.otafuku.co.jp/recipe/cook/noodle/nood01.html，2017.5.12）

学習者は，3 つの語義のうち「タイプするときの文字と文字との空間」と「宇宙空間」は焼きそばとは無関係で，文脈に合わないと判断した。もう 1 つの語義「部屋や領域の空間」は抽象的で理解できなかったため，文脈に合う語義は辞書には出ていないと判断した。このとき例文検索をすれば，「どこでもスペースのあるところにそれを置きなさい」のような例文があり，「スペース」の意味が理解しやすくなったはずである。

このような問題点に対しては，(95)のような指導を提案する。

(95) 辞書に載っている語義を見ても，どの語義を選択すればよいかがよくわからないときには，辞書に載っている例文を見るようにする。

5.3　文脈に合う語義を選択できない

辞書の見出し語に複数の語義が載っている場合，学習者はそれらの語義の中から文脈に合う語義を選択できないことがある。

たとえば，(96)を読んだスペイン語を母語とする中級学習者は，「控える」の語義として辞書に載っている「書きとめる」「少なくする」「準備する」「まもなく来る」のうち，「準備する」を選択した。その結果，文の意味を適切に理解することができなかった。

(96)［前略］2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を**控える**なか，いわゆるヘイトスピーチが公然と行われるようになっており，［後略］(ウェブサイト「NewSphere」，松丸さとみ「「外国人 3 割が差別発言経験」の法務省調査，手法に難あり？ 海外掲示板で話題に」，https://newsphere.jp/national/20170404-3/，2017.5.12）

学習者は，これらの語義のうち「書きとめる」と「少なくする」は文脈に合わないと判断し，「準備する」か「まもなく来る」のどちらかが適切な語義だと推測した。その上で，「準備する」という語義のほうが「東京オリンピック」とつながりやすく適切だろうと判断した。そのとき，「まもなく来る」という語義のほうが「2020 年」や「開催」とつながりやすいということは考えなかった。

また，(97)を読んだスペイン語を母語とする初級学習者は，「生地」の語義として辞書に載っている「素材」「布」「本来の性質」「釉薬のかかっていない陶器」「すっぴんの肌」「コーティングしていない金属」のうち，どの語義を選択するのがよいかがわからず，選択するのを諦めた。

(97) 強力粉のなかでも，特に「デュラム小麦のセモリナ粉（粗挽き粉）」を使ったパスタが上質とされている。この粉は，ガラス質の半透明の硬い胚乳を持ち，弾力性に富んでいるので**生地**の形成がしやすい，ゆでてもコシが強く形が崩れにくいなどの性質を持つ。(ウェブサイト「オリーブオイルをひとまわし」,「パスタとラーメンは，原材料がこんなに違う！」，https://www.olive-hitomawashi.com/column/2018/01/post-813.html，2018.5.6）

この文章はパスタの話であり，「布」や「陶器」「肌」「金属」という語義ではないはずだと推測できたはずである。また，前後にある「弾力性に富んでいる」や「形成がしやすい」からも，「(パスタの）素材」という意味だと推測できた可能性がある。

このような問題点に対しては，(98)のような指導を提案する。

(98) どの語義を選択すればよいかがよくわからないときには，どの語義が前後の文脈ともっとも合うかをよく検討するようにする。

5.4　語義の選択段階における辞書使用の問題点とその指導のまとめ

ここまで見てきた語義の選択段階における問題点とそれに対する指導をまとめると(99)から(101)のようになる。

(99)　最初に出ている語義を選択する問題点に対して：語義が複数あるときは，最初の語義だけを見るのではなく，他の語義も見て，もっとも文脈に合う意味を選択するようにする。

(100)　例文を見ないために適切な語義を選択できない問題点に対して：辞書に載っている語義を見ても，どの語義を選択すればよいかがよくわからないときには，辞書に載っている例文を見るようにする。

(101)　文脈に合う語義を選択できない問題点に対して：どの語義を選択すればよいかがよくわからないときには，どの語義が前後の文脈ともっとも合うかをよく検討するようにする。

6　まとめと今後の課題

6 では，6.1 でこの論文のまとめを行い，6.2 で今後の課題について述べる。

6.1　まとめ

この論文では，ヨーロッパの日本語学習者が読解を行うときに辞書の使用についてどのような問題点があるのかを明らかにした。また，そのような問題点をもとに，辞書使用

について学習者にどのような指導をすればよいかという提案も行った。

辞書使用の問題点とその指導については，辞書使用の段階を「入力語句の決定段階」と「辞書への入力段階」と「語義の選択段階」に 3 つに分けて考察した。

「入力語句の決定段階」では，たとえば(102)のような問題点があり，(103)のような指導が必要であることを指摘した。

(102)「こぎ着ける」を「こぎ」と「着ける」に切り分け，辞書で「こぎ」を調べるが，「漕ぎ」や「狐疑」の語義しか出てこないために，意味を適切に理解できない。

(103)「こぎ着ける」のように「動詞の連用形＋動詞」である可能性があるものは，区切らずに，それ全体を辞書で調べるようにする。

「辞書への入力段階」では，たとえば(104)のような問題点があり，(105)のような指導が必要であることを指摘した。

(104)「輸入」の「輸」を「輪」と混同し，ローマ字入力で「わ」と入力して「輪」を含む語句のリストを見るが，「輸入」を見つけることができない。

(105) 読み方でタイプ入力するのではなく，手書き入力かコピー・アンド・ペーストで入力するようにする。

「語義の選択段階」では，たとえば(106)のような問題点があり，(107)のような指導が必要であることを指摘した。

(106)「評する」の語義として辞書に最初に載っている「批判する」だけを見て，2 つ目の語義として載っている「コメントする」を見ないために，意味を適切に理解できない。

(107) 語義が複数あるときは，最初の語義だけを見るのではなく，他の語義も見て，もっとも文脈に合う意味を選択するようにする。

6.2　今後の課題

今後の課題としては，(108)と(109)が考えられる。

(108) 日本語学習者が辞書を適切に使えるようにするために，辞書使用の指導プログラムを開発する。

(109) 日本語学習者の辞書使用の問題点をもとに，辞書を学習者に使いやすいものにするためには，辞書をどのように改良すればよいかを研究する。

このうち(108)の「辞書使用の指導プログラム」については，電子辞書への入力方法の指導に特化した廣田（2008）のような研究はあるが，入力語句の決定段階と語義の選択段階も含めた辞書使用の指導についての研究はほとんどない。

(109)の「辞書の改良」についても，野田（2011）など，理想的な辞書を提案する研究はあるが，学習者に対する調査に基づいて辞書の改良を具体的に検討した研究はほとんどない。

日本語学習者の辞書使用の問題点をさらに追究するとともに，このような課題についての研究も進めていく必要がある。

＜付記＞

この論文は，国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」および JSPS 科研費 15H01884 の研究成果である。

＜参考文献＞

桑原陽子（2019）「非漢字系中級学習者の論文読解における辞書使用のありかたの変化―教育実践論文の読解プロセスの事例報告―」『国際教育交流研究』3, pp.1-13, 福井大学国際センター・語学センター. ［http://hdl.handle.net/10098/10612, 2020.12.10］

野田尚史（2011）「コミュニケーションのための日本語学習用辞書の構想」『日本語／日本語教育研究』2, pp.5-32, ココ出版. ［http://www.cocopb.com/NichiNichi/journal_2/%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%83%88%E3%83%AA%E3%83%BC/2011/5/16_Day_of_longboarding_files/2011_1_noda.pdf, 2020.12.10］

野田尚史（2017）「中国語話者の日本語読解―調査方法と調査結果―」,『中国語話者のための日本語教育研究』第 8 号, pp.1-15.

野田尚史・花田敦子・藤原未雪（2017）「上級日本語学習者は学術論文をどのように読み誤るか―中国語を母語とする大学院生の調査から―」,『日本語教育』167 号, pp.15-30. ［https://doi.org/10.20721/nihongokyoiku.167.0_15, 2020.12.10］

廣田周子（2008）「非漢字圏学習者に対する電子辞書の使い方指導」,『文化外国語専門学校日本語課程紀要』第 21 号, pp.21-44. ［http://hdl.handle.net/10457/966, 2020.12.10］

フメリャク寒川　クリスティナ（2020）「日本語学習者の読解過程における辞書使用」野田尚史（編）『日本語学習者の読解過程』pp.165-182, ココ出版.

＜参考ウェブページ＞

「日本語非母語話者の読解コーパス」, http://www2.ninjal.ac.jp/jsl-rikai/dokkai/, 2020.12.10